
「CT 画像の後方視的解析による鼻中隔矯正術と下鼻甲介手術後の

副鼻腔陰影への影響に関する検討」に関するお知らせ

このたび、埼玉医科大学病院耳鼻咽喉科で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長の許可のもとに実施するものです。

本研究では、患者さんに新たな検査やご負担をお願いすることはありません。診療情報を研究に使用することに同意されない場合やご質問がある際は、患者さんご自身またはご家族の方から下記までお申し出ください。お申し出があっても不利益を受けることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022 年 6 月 1 日から 2025 年 11 月 30 日までに鼻閉改善手術を受けた 18 歳以上の患者の中で術前副鼻腔 CT で副鼻腔陰影を認める患者さんが対象です。

2. 研究の目的

鼻中隔矯正術および下鼻甲介手術は、鼻閉改善を目的として広く行われている標準的

な手術です。

しかし、術前 CT で軽度の副鼻腔陰影が認められる症例に対しては、内視鏡下副鼻腔手術を併施すべきかどうかの明確な基準がありません。

本研究では、鼻中隔矯正術および下鼻甲介手術のみを施行した症例を対象に、術前後の CT 画像を比較し、副鼻腔陰影の変化を定量的に評価します。

この結果により、軽度副鼻腔陰影に対する手術適応の客観的指標を構築し、より適切で患者さんにやさしい治療選択の推進や、医療資源の有効利用に貢献することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 12 月 18 日

開始予定日以降も、研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者さんの年齢、性別、病歴（既往歴、外傷歴、手術歴）、CT 所見、内視鏡所見、

鼻腔通気度検査、質問紙などを用います。

これらの情報は個人が特定できない形に匿名化し、埼玉医科大学病院耳鼻咽喉科で厳重に管理します。患者さんのプライバシーが侵害されることはありません。

2. 試料・情報の取得方法

鼻中隔矯正術および下鼻甲介手術を受けられた患者さんの電子カルテデータベースから抽出します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 耳鼻咽喉科 助教 澤田 政史

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 耳鼻咽喉科 助教 澤田政史

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

Tel : 049-276-1253 (内線 8311)

Fax : 049-295-8061

E-mail : sawada.masafumi@1972.saitama-med.ac.jp

○研究課題名：CT 画像の後方視的解析による鼻中隔矯正術と下鼻甲介手術後の
副鼻腔陰影への影響に関する検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 耳鼻咽喉科 助教 澤田 政史